

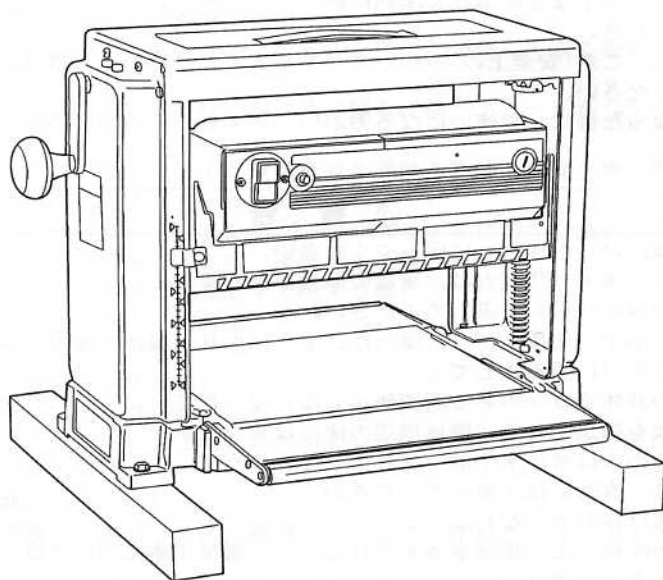
RYOBI®

自動カンナ

AP-12

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

- ・安全上のご注意 1～4
- ・各部の名称、仕様 5
- ・付属品、別販売品、用途 5
- ・操作方法 6～11
- ・保守と点検 12

△ 警 告

14. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・機械を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
15. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーや回転軸、歯車、プーリー、ベルトなどに損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての個所に異状がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、回転軸、歯車、プーリー、ベルトなどの部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行ってください。スイッチで始動および停止操作の出来ない機械は使用しないでください。
16. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
17. 機械の修理は、専門店に依頼してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買上げ販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術の無い方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

自動カンナご使用に際して

先に機械としての共通の注意事項を述べましたが、自動カンナをご使用の際には、さらにつぎに述べる注意事項を守ってください。

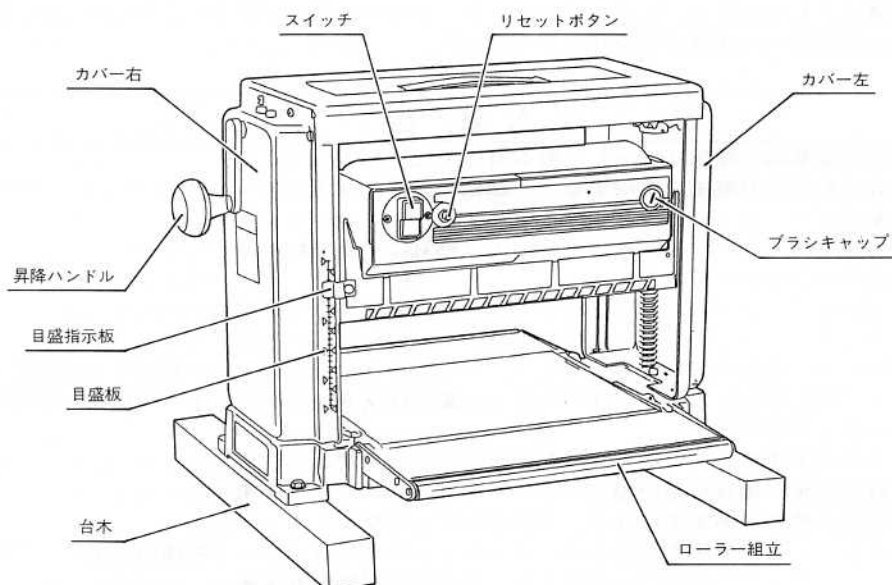
△ 警 告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 運転中は、カンナ刃、及び可動部には絶対に手を触れないでください。
 - ・けがの原因になります。
3. 切屑排出口には絶対に指などを入れないように注意してください。
 - ・カンナ刃が高速回転していますので、けがの原因になります。
4. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
5. 材料が長い場合や重い場合には、補助ローラーなどを使用してください。
 - ・材料、機械が不安定になり、けがの原因になります。
6. 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
 - ・アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。

△ 注 意

1. 刃物類(カンナ刃など)や付属品は取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実にないと、カンナ刃が破損したり外れたりし、けがの原因になります。
2. 作業中は軍手など巻込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
 - ・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
3. 作業前に、機械を空転させ、機体の振動などの異常がないことを確認してください。
 - ・異常があるまま使用しますと、けがの原因になります。
4. カンナ刃の取付け、取外しなどカンナ刃の取扱いの時には手を切る恐れがありますので刃先に十分注意してください。
5. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
 - ・刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
6. スイッチを入れる前に、ダストカバーが取付けられているか確認してください。
 - ・ダストカバーを取付けずスイッチを入れると、けがの原因となるだけでなく、機体損傷の原因となります。

■各部の名称



●仕様

モデル	A P - 12	最大切削巾	313mm
電源	単相100V 50/60Hz	切削材厚さ	5 ~ 153mm
電流	14A	切込深さ	2.5mm (150mm切削巾時)
消費電力	1,350W		1.5mm (250mm切削巾時)
回転数	8,500R.P.M.		1.0mm (313mm切削巾時)
送材速度	8.5m/分	機体寸法	(高さ) (巾) (奥行)
キャブタイヤコード	5 m		402 × 547 × 482(mm)
		重量	28.5kg

■通常付属品

- T型ボックススパナ (10mm) 1
- 両口スパナ (10×12mm) 1
- 刃先セットゲージ 1
- 六角レンチ (5 mm) 1
- 六角レンチ (3 mm) 1
- 昇降ハンドル 1
- 六角穴付きボルト (M6 × 16mm) ... 1
- バネ座金 (φ 6) 1

- ダストカバー 1
- 蝶ボルト (M5 × 12mm) 2
- バネ座金 (φ 5) 2
- 台木 2
- 六角木ネジ (8 × 45mm) 4
- 平座金 (φ 8) 4
- ⊕ドライバ (# 2) 1

■用途

- 木材の平削り

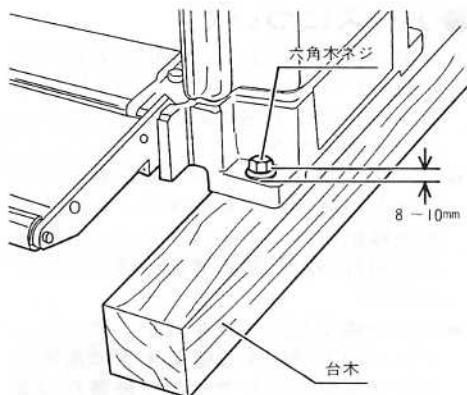
■別販売品

- 補助ローラー

■操作方法

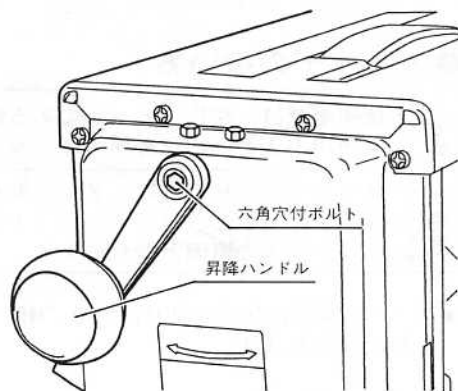
●台木の取付け

- 台木の上に本体を乗せ、本体のベース穴と台木の下穴をあわせませす。
- 付属品の六角木ネジ(8×45)と平座金(8φ)4組を締代8～10mm残して取付け穴に打込みます。
- 付属品のスパナで六角木ネジを締め付けば、台木の取付けは完了です。



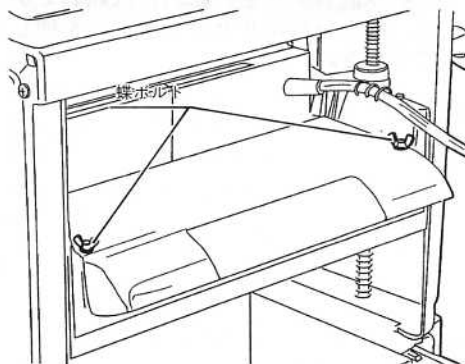
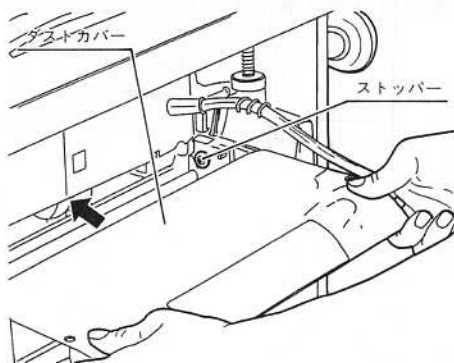
●昇降ハンドルの取付け

- 付属品の昇降ハンドルを本体左側にありますハンドル取付軸の溝に合わせ、付属品のバネ座金(6φ)、六角穴付ボルト(M6×16)で取付けます。六角穴付ボルトの締め付けは付属品の六角レンチ(5mm)を使用してください。



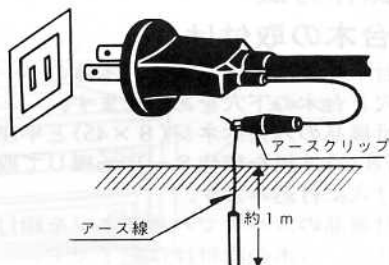
●ダストカバーの取付け

- ダストカバーを本体後部ローラーケース上に、ストッパーを押さえつけるようにしてかぶせます。付属品の蝶ボルト(M5×12)でダストカバーを付ければ、ダストカバーの取付けは完了です。



●アースについて

- 感電事故防止の為、ご使用に先だち必ず接地(アース)してください。接地する場合はコード端にあるアースクリップを使用ください。
- アースクリップやアース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアースクリップと機械の金属部(外部)間の導通を確認してください。
- アース棒やアース板を地中に埋込み、アース線を接続する電気工事は電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店にご相談ください。



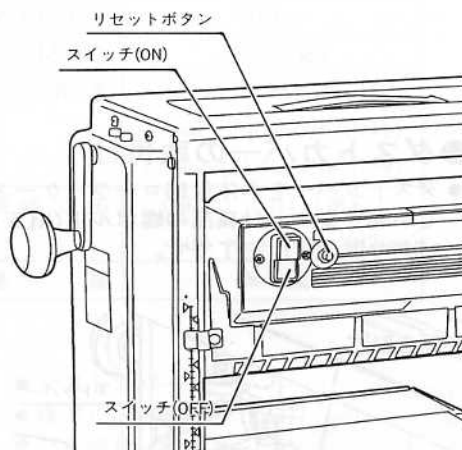
●スイッチの扱い方

⚠ 警告	・使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となりけがの原因になります。
⚠ 注意	・スイッチを入れる前に、ダストカバーが取付けられているか確認してください。ダストカバーを取付けずスイッチを入れると、けがの原因となるだけでなく、ベルト損傷の原因となります。

- スイッチ操作は“ON”を押せば入り、“OFF”を押せば切れます。

(リセットボタン)

- 本機は過負荷によるモーターの焼損、各部の損傷防止のために過負荷保護装置を内蔵しています。
- 過負荷保護装置が働き、モーターが停止したときには、スイッチを“OFF”にして切り過負荷状態の原因を取除いてから、約5分後にリセットボタンを押してください。



●切削作業

△警告	・運転中は、カンナ刃、及び可動部には絶対に手を触れないでください。けがの原因になります。 ・切屑排出口には絶対に指などを入れないように注意してください。カンナ刃が高速回転していますので、けがの原因になります。
△注意	・切削材に釘など異物がないことを確認してください。刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。

- 切削材の厚さに合わせ昇降ハンドルを回して刃物部を下げます。

- スイッチをONにし、切削材をローラー部より送込みます。

(注)長尺材の切削では、切削材の前又は後をささえて、切削材の重量バランスを取ってください。

- 必要な材料厚になるまで切削をくり返します。

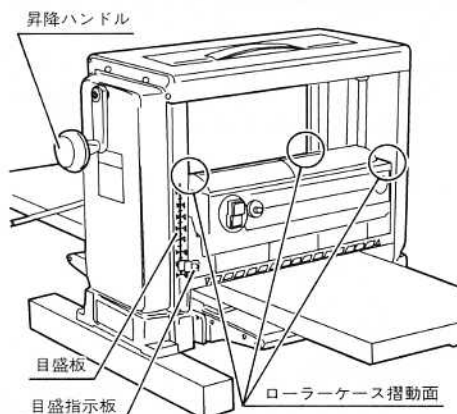
(注)薄板加工時には、ローラーケース下部の切屑を排除してください。切屑がローラーケース下部にありますと、屑を挟んでローラーケースは十分に下りません。

(注)左右カバーのローラーケースが上下揺動する部分に加工材等を当てないでください。昇降精度が悪くなり、加工材両端の段差が大きくなります。

(注)ご使用後は必ずスイッチをOFFにし、さし込みプラグを抜いてください。

(注)作業終了後は、機械各部を清掃してください。

特にカバー内側等の切削屑の溜りやすい部分はエアダスタ等で清掃してください。切削屑をそのままにしておきますと、スプロケットやチェーン等機械各部の損傷の原因になります。



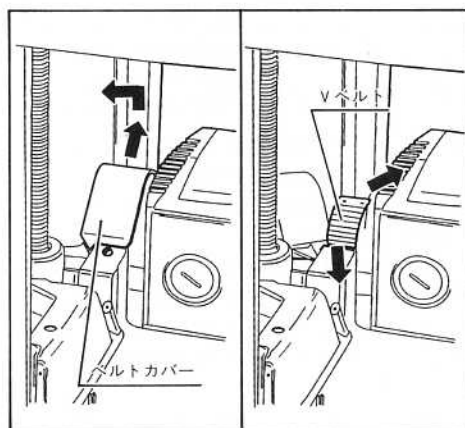
●カンナ刃の交換



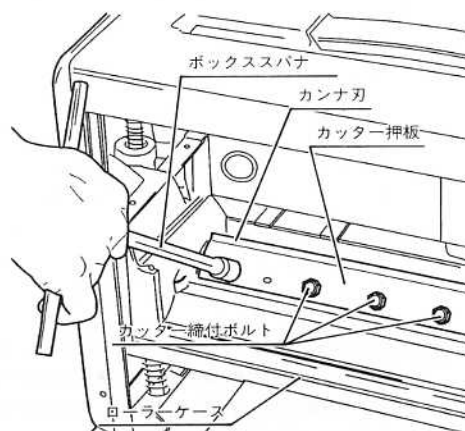
- ・カンナ刃の取付け、取外しの際はスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

(カンナ刃の取外し)

- モーター左側にあるベルトカバーを引き上げ、外側に寄せると、Vベルトが現れます。
- 本体後部の蝶ボルトをゆるめ、ダストカバーを取外します。
- Vベルトを回してカッターブロックを回転させてください。カッターブロックがロックされます。

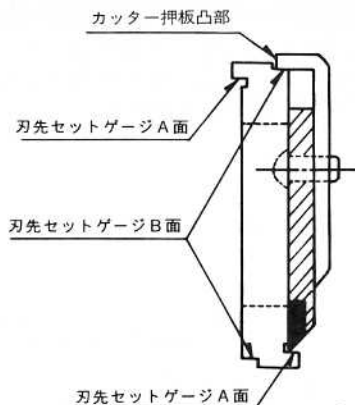
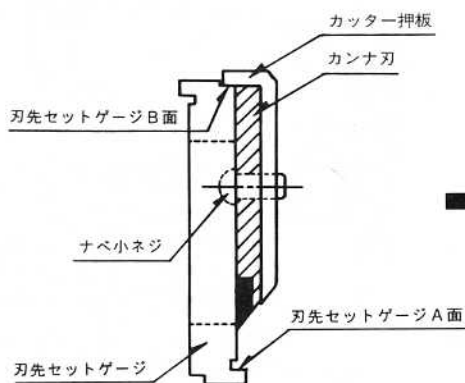
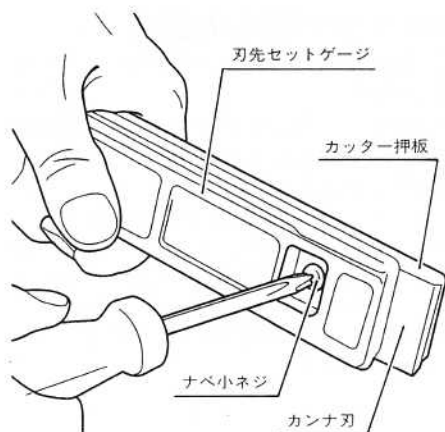


- ボックススパナ(10mm)でカッター締付けボルトをゆるめ、カッター押板共々カンナ刃を取外します。
- ストッパーを押すと、カッターブロックのロックが解除されます。カッターブロックを180°回転させて、もう一組のカンナ刃、カッター押板も同様に取外します。



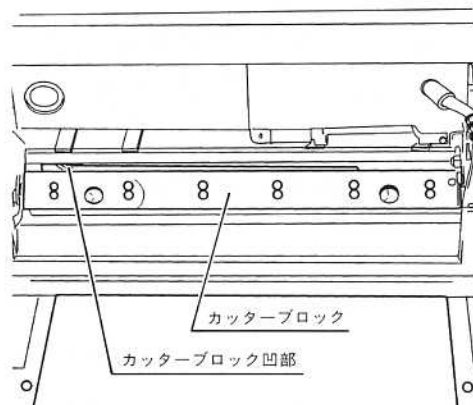
(カッター刃先調節)

- カンナ刃とカッター押板を固定するナベ小ネジを軽くゆるめ、カッター押板の凸部を刃先セットゲージのB面に押し付けます。
- カッター刃先がA面に軽く接触するように調節します。
- ナベ小ネジでカンナ刃とカッター押板を固定します。



(カンナ刃の取付け)

- 固定したカッターブロック凹部に、カッター押板の凸部をはめ込みます。
- カッター締付ボルトをボックススパンで両端から左右交互に強く締付けます。
- カッター取付け後は必ずダストカバーを取付け、ストッパーが解除されていることを確認してください。
- ベルトカバーを元の位置に戻してください。



△
注
意

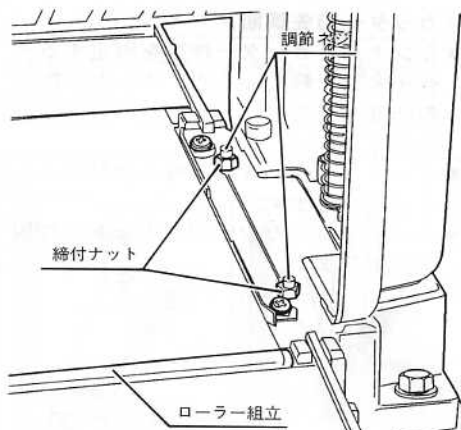
・ダストカバーを取付けないでスイッチを入れますと危険なだけでなく、カッターブロックがロックされており、機体の損傷の原因となります。

●ローラー高さの調節

- 付属品の両口スパナで締付ナットをゆるめます。
- 付属品の六角レンチ(3mm)で、調節ネジを回すことにより、ローラー高さは調節できます。

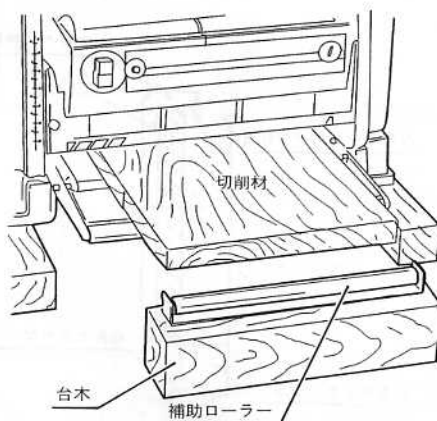
(注)ローラー高さは出荷時にセットしてありますが、ローラーが下りましたら、定盤面より0.2~0.4mm高くなるように調節してください。

- ローラー高さは調節後は、締付ナットを締付けます。



●補助ローラー(別販売品)

- 補助ローラーは、定盤と同じ高さになるように、適当な台木に木ネジ等で取付けて、使用します。



■保守と点検



- 保守、点検、部品交換等のお手入れの前にスイッチを切りプラグを必ず電源から抜いてください。けがや感電の原因になります。

●刃物について

- 切れ味が悪くなったカンナ刃をそのままご使用になりますとモーター、その他に無理がかかり、能率も落ちますので、早めに研磨するか、新品と交換してください。カンナ刃を交換する場合は2枚1組単位で交換してください。何度も研磨したカンナ刃と新品のカンナ刃を1組にして使用しますとバランスが悪くなり、振動が出たり、機械の寿命を低下させます。

●各部取付けネジの点検

- ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

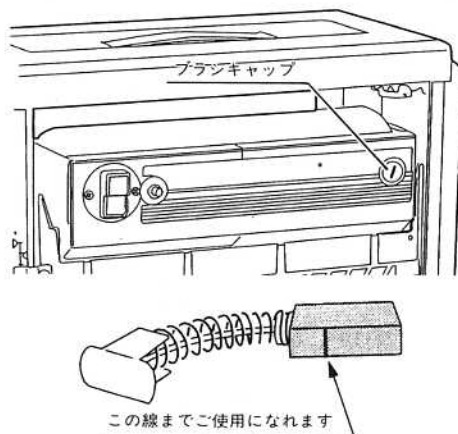
- 油污れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。
- 各部を清掃してください。特にカバー内側等切削屑が溜まりやすい部分はエアダスタ等で清掃するようにしてください。また各振動部には時々注油をしてください。

●作業後の保管

- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れがあるところはさけてください。

●カーボンブラシについて

- カーボンブラシは消耗品です。カーボンブラシが全長の $\frac{1}{3}$ 以下、即ちカーボンブラシの横の線まで短くなりましたら新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのままご使用になりますとモーター焼損の原因になることがあります。
- カーボンブラシの交換は⊖ドライバでブラシキャップを外せば、簡単に行なえます。
- カーボンブラシは2個1セットです。交換されるときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。



●修理について

- 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
- その他、部品ご購入の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観等を変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

リョービ株式会社